

● 一般会計 歳出の概要

歳出の決算は、経費の経済的な性質に着目した「性質別分類」と行政目的に着目した「目的別分類」に分類することができます。性質別分類では令和6年度の概要を、目的別分類では、市民1人あたりの歳出額をお知らせします。

■ 性質別

【義務的経費】

● 扶助費 112億966万円(前年度比16.6%増)

定額減税事業で4億9,087万円の増、障がい者総合支援給付事業で4億2,804万円の増、物価高騰対応重点支援給付金支給事業で3億1,124万円の増

● 人件費 54億3,426万円(前年度比16.1%増)

職員給で2億2,142万円の増、退職金で2億6,840万円の増

● 公債費 23億7,495万円(前年度比1.0%増)

市債の返済に要する経費で、前年度比1.0%増

【投資的経費】

● 普通建設事業費 37億3,975万円(前年度比50.5%減)

小学校施設整備事業で12億8,987万円の減、公園施設整備事業で7億4,353万円の減など

【その他の経費】

● 150億2,390万円(前年度比12.2%減)

補助費などでは、物価高騰対策給付金支給事業で7億2,058万円の減などにより、前年度比20.9%減の50億5,592万円となり、繰出金では、土地取得事業特別会計繰出金事業で5億3,674万円の減などにより、前年度比4.2%減の35億7,451万円となり、積立金では、減債基金積立で5億8,429万円の減などにより、前年度比40.1%減の13億3,487万円となりました。

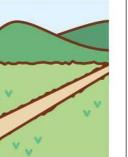
■ 目的別

市民1人あたりの
歳出総額

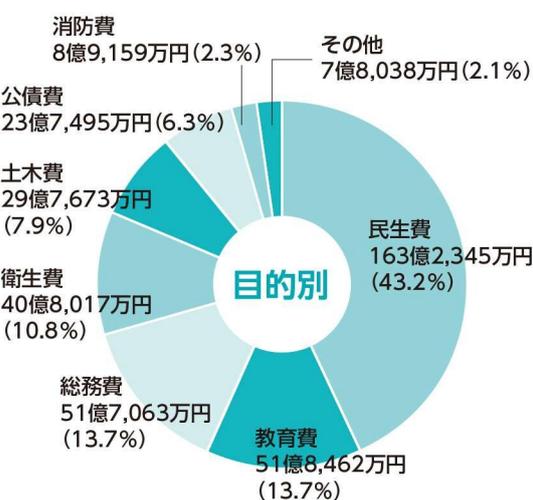
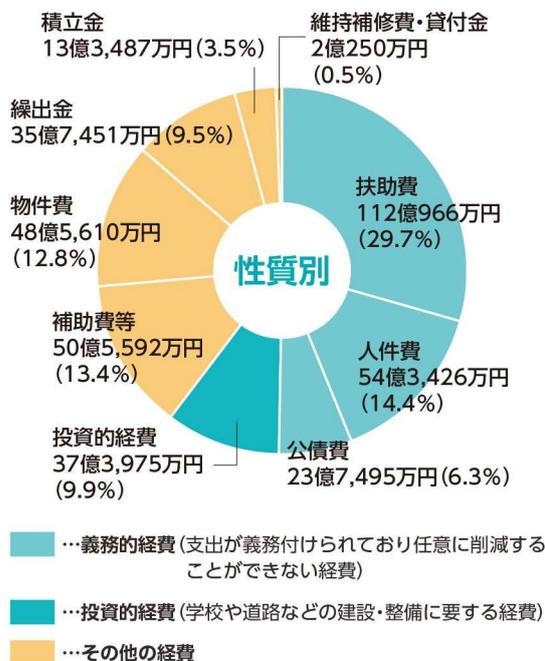
52万736円

(令和6年度末時点での住民登録人口により算出)

目的別歳出を市民1人あたりに置き換えると…

民生費	教育費	総務費	衛生費	土木費	公債費	消防費	その他
高齢者や児童の福祉に	学校、公民館、学習活動に	窓口業務、税金徴収に	ごみ処理や病気予防に	道路、河川、公園整備に	借入金の返済に	消防活動、防災活動に	議会、商工、農林水産に
							
22万4,977円	7万1,457円	7万1,264円	5万6,235円	4万1,027円	3万2,733円	1万2,288円	1万7,555円

歳出 377億8,252万円



令和6年度決算の概要

令和6年度の一般会計における最終予算現額は436億1,286万円で、この予算に対する決算額は、歳入が380億8,789万円、歳出が377億8,252万円で、差し引き3億538万円です。このうち翌年度へ繰り越すべき財源7,963万円を差し引いた実質収支の額は2億2,575万円となり、21年連続の黒字決算となりました。

財政用語については
こちらを
ご確認ください



会計名	決算額		形式収支額(A) (歳入-歳出)	繰越すべき財源(B)	実質収支額 (A)-(B)
	歳入	歳出			
一般会計	380億8,789万円	377億8,252万円	3億538万円	7,963万円	2億2,575万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

一般会計 歳入の概要

①市税 118億4,960万円(前年度比1.7%減)

歳入の根幹である市税では、個人市民税で定額減税の影響により2億3,477万円の減、市たばこ税で807万円の減、固定資産税で280万円の減

②税外収入 47億7,890万円(前年度比29.2%減)

繰入金では土地取得事業特別会計繰入金で21億2,575万円の減、財産収入では土地売払収入で3億6,257万円の減

③国庫支出金 82億489万円(前年度比11.3%減)

都市構造再編集中支援事業費補助金で9億8,270万円の減、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で5億2,371万円の減

④地方交付税 53億7,989万円(前年度比11.1%増)

地方財源の均衡化を図るため、国税の一定割合などが地方公共団体に交付されるもの

⑤譲与税・交付金 29億3,949万円(前年度比21.5%増)

定額減税減収補填特例交付金で3億1,610万円の増、地方消費税交付金で8,399万円の増

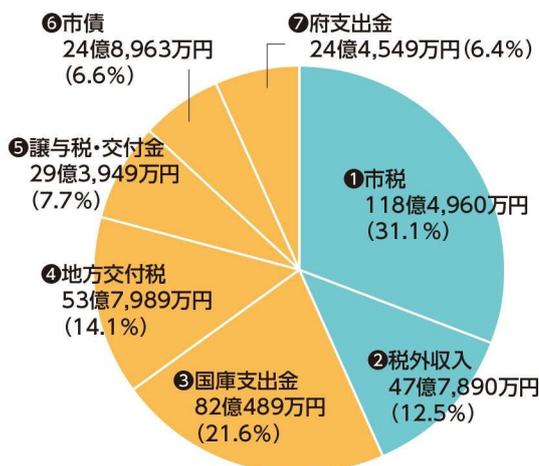
⑥市債(借入金) 24億8,963万円(前年度比33.5%減)

公園整備事業債で9億3,950万円の減、小学校整備事業債で7億610万円の減、体育施設整備事業債で3億3,140万円の減

⑦府支出金 24億4,549万円(前年度比1.1%減)

就学前教育・保育施設整備交付金で1億5,706万円の減、大阪府知事選挙および大阪府議会議員選挙委託金で1,559万円の減

歳入 380億8,789万円



①市税の内訳

個人市民税	38億 126万円
法人市民税	8億3,646万円
固定資産税	54億 952万円
軽自動車税	1億4,718万円
市たばこ税	6億4,965万円
都市計画税	10億 553万円

②税外収入の内容

諸収入、使用料および手数料、繰越金、分担金および負担金、財産収入、繰入金、寄附金

…自主財源(地方自治体の権限で収入できる財源)

…依存財源(国や府の意思決定に基づき交付される財源)

市民1人あたりの市税負担額

(令和6年度末時点での住民登録人口により算出)

16万3,317円

● 令和6年度決算の健全化判断比率と資金不足比率

■ 健全化判断比率:4指標

※黒字である場合には、「-」の表示となります。

各比率	概要	泉大津市		国の基準	
		比率		早期健全化基準	財政再生基準
		6年度	5年度		
実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計などの赤字の割合	-	-	12.57%以上	20.00%以上
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	-	-	17.57%以上	30.00%以上
実質公債費比率	1年間の収入に対する借入(借入金)返済の負担を3か年の平均で示した割合	7.4%	8.9%	25.0%以上	35.0%以上
将来負担比率	標準財政規模に対する将来本市が支払う借入金返済の割合	44.6%	9.5%	350.0%以上	

■ 資金不足比率

※不足額がない場合には、「-」の表示となります。

各比率	事業	概要	泉大津市		国の基準
			6年度	5年度	経営健全化指標
資金不足比率	水道事業会計	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合 この割合が高い場合、経営状況が悪いことを示します	-	-	20.0%以上
	病院事業会計		3.9%	-	
	下水道事業会計		-	-	

● 令和6年度に実施した主な事業

① 中学校全3校に給食施設を整備

市内全3中学校において、令和7年度の2学期より自校調理方式による給食を実施するため、給食施設を整備しました。整備することで整備前のデリバリー方式と比べて温かくできたてのよりおいしい給食の提供と自校調理による調理員との顔の見える関係を通じて、食育をさらに推進することを目的としています。



② 各校に常駐する 外国語指導助手(ALT)を配置

充実した英語教育の基盤として、児童生徒の英語への抵抗感を軽減し異文化への関心を広げるために、各校に常駐するALTを配置しました。英語の授業に関わらず、学校生活のさまざまな場面で、日常的に英語に触れる機会をもつことが可能となり、各校において特色ある英語教育が展開されています。



③ 防災倉庫整備事業に着手

防災倉庫「OZU-BO おづぼう」の整備事業に着手しました(令和7年12月完成)。

「OZU-BO おづぼう」では、備蓄物資の管理と緊急時のスムーズな供給を可能にするシステム整備に加え、避難所用のテントやベッドの使い方を学べるなど、防災体験を通じて地域の防災力を高めます。



● 特別会計の決算状況

会計名	決算額		形式収支額 (歳入・歳出差引額) (A)	翌年度へ 繰越すべき財源 (B)	実質収支額 (A) - (B)
	歳入	歳出			
特別会計	161億8,575万円	157億8,867万円	3億9,709万円	0万円	3億9,709万円
土地取得事業特別会計	2億 950万円	2億 950万円	0万円	0万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	73億6,398万円	73億3,694万円	2,704万円	0万円	2,704万円
介護保険事業特別会計	73億3,979万円	70億1,744万円	3億2,236万円	0万円	3億2,236万円
後期高齢者医療特別会計	12億7,248万円	12億2,479万円	4,769万円	0万円	4,769万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

● 借入金(市債)と財産の状況 (令和7年6月30日時点)

■市の借入金(市債・企業債)現在高

会計名	現在高
一般会計	268億4,789万円
土地取得事業特別会計	8億1,042万円
下水道事業会計	169億 621万円
水道事業会計	36億5,274万円
病院事業会計	169億8,111万円
合計	651億9,837万円

■市の財産現在高

区分		現在高
証券 基 金	有価証券	2,350万円
	泉大津市財政調整基金	41億5,710万円
	減債基金	6億 549万円
	泉大津市都市施設整備基金	1,316万円
	泉大津市福祉基金	4億2,258万円
	交流とふれあいのまちづくり基金	2億5,737万円
	深喜人材育成基金	1億2,458万円
	泉大津市公園墓地基金	4,927万円
	泉大津市介護給付費準備基金	2億7,935万円
	辻川穂太郎やすらぎ基金	6,909万円
	泉大津市がんばろう基金	4,607万円
	佐野幸子基金	1,083万円
	泉大津市地域環境基金	1億3,191万円
	八木稔すこやか基金	3,174万円
	泉大津市環境整備資金貸付基金	6,300万円
	泉大津市営住宅整備基金	3億6,039万円
	テクスピア大阪産業振興整備基金	7億7,706万円
	泉大津市安全・安心なまちづくり連携活動基金	6,596万円
	泉大津市ふるさと応援基金	12億5,007万円
	泉大津市公共施設整備基金	5億5,683万円
	泉大津市国民健康保険事業財政調整基金	3億3,626万円
	泉大津市駐車場整備基金	2,103万円
	泉大津市森林環境譲与税基金	2,042万円
	泉大津市シーバスパーク等整備基金	8万円
	企業版ふるさと納税基金	1,000万円
	小計	96億5,964万円
	合計	96億8,314万円

市民1人あたりに
置き換えると…



借入金(市債・企業債)	90万円
財産	13万円

※令和7年6月末時点での住民登録人口により算出

